



■ 2016年規定審議会とロータリーの戦略計画

2016年の規定審議会では、今までになくロータリークラブの自主性と責任が問われることになりました。各クラブの運営方法、特に例会のあり方を真剣に協議しなければなりません。それこそがクラブの戦略計画です。今の自分のクラブの良い点、悪い点をしっかり検証し、3年後、5年後、10年後のクラブの姿を描いて計画します。それに従って毎年の計画がなされ実行され、毎年の検証も必要です。この戦略計画は、クラブ協議会を通じて、会員全員が共有しなければなりません。また、今回改正されたことを地区や分区・班・グループで統一見解を出して欲しいとの意見もあります。しかし、今度の規定審議会で決まったことは、各クラブの自主性と責任です。横並びの方が楽ではありますが、会員全員で考え話し合うことを選びたいものです。当然、今までのクラブの運営方法を必ず変えなければならぬと言うわけではありません。

■ クラブの細則の改正

いうまでもなく、規定審議会が開催された次の年度には、決まったことをクラブの細則に反映させなければなりません。推奨ロータリークラブ細則を採用しているクラブにおかれましては、クラブの細則は、クラブの例会で改正します。10日前に会員に書面で通知し、定足数を満たした例会で3分の2が賛成することが必要です。また、国際ロータリー定款・細則、ロータリー章典と矛盾してはいけません。

	クラブ数	会員数
Zone 1	830	28,777
Zone 2	651	28,204
Zone 3	793	33,019
合計	2,274	90,000

■ BOX登録件数

182件

2016年12月6日現在のClub Centralのデータです。



ジョン・F・ジャームRI会長ご夫妻
斎藤直美RI理事ご夫妻
名古屋ロータリー研究会
2016年11月29日

ロータリー研究会とは、ゾーン単位で開催され(日本は3つのゾーン合同)国際ロータリーの現、次期、元役員に国際ロータリーとロータリー財団の最新の情報を提供し、親睦と研修の機会を提供する会です。



2016年7月9日(土)大阪にて、第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催し、105名の登録をいただきました。開会式では、斎藤理事のご挨拶をいただき、第3ゾーンの3部門、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーターとロータリー財団地域コーディネーターがそれぞれ趣旨説明し、杉谷直前理事の講演をいただきました。そして、部門ごとのグループ討議で地区の情報交換があり、財団部門では、第2730地区のグローバル補助金の事例発表がありました。グローバル補助金の使い方が難しく、それぞれの地区のロータリー財団委員会には、参考事例になったようです。その後の、杉谷直前理事ご逝去は、残念でありました。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明